日

第三者の公平な批判

きは却つて一般國民の反感を買ひ野点の不利を描く所以だき論じてゐるものが勢いである、故に自らこれを率直に取消し、殿書で為り付ったとは出来ない知識の大人とは不能である。とかとながら問題は政策の経験でもないから、能機は地が極めて軽度にその失意人職がさるへれば解決しそれ以上には影響でもないから、能機は地が極めて軽度にその失意人職がしさへすれば解決しそれ以上には影響にもないから、能機は地が極めて軽度にその失意人職がしさへすれば解決しそれ以上には影響に対したがも、能機は地が極めて軽度にある。とかとながら問題は政策の経験でもなければ常識りのをで言い続らは、野無臓がそれが上には野馬の経験は、野無の不利を描く所以だき論じてゐるものが勢いと数様にあるに見分なものと数様にあるが如き誤解を建させるに充分なものと数様に対してゐるとのが多いと数様にはいからは、一般は一般は一般は一般に対しなが知ると、 きは却つて一般國民の反感を買ひ

前言を取消に決定 政府釋明方法考慮 ふ院内で閣僚が協議 秘禁に置み際原館構代理の共富

用語不足は遺憾

釋明方法の意見一致

| 東京五 | 養電頭 江木、安禄駅 | 東京五 | 養電頭 江木、安禄駅 たるは否めないからこの際積極るが矢張り用語に不足の貼ありの解原首科代理の真意に明かであ がなに取り消す」冒を述べれば ないが用語に不足の貼めり間壁 ないが用語に不足の貼めり間壁 ないが用語に不足の貼めり間壁 ないが用語に不足の貼めり間壁 ではるに至った事は甚だ遺憾で の意を以ってならたものでは ないが用語に不足の貼めり間壁 ではるに至った事は甚だ遺憾で のではる。

きのふに劣らず 議場の空氣險惡

「東京五日餐電通』二日間に取っ 歴史報告の総表をつけんとする野 歴史報告の総表をつけんとする野 歴史報告の総表をつけんとする野 歴史報告の総表をつけんとする野 歴史報告の総表をつけんとする野 歴史の受謝した。今前と受別を観します。 を置しまするんだ」を早くと順き でてる、委員長職然たる中に職能 を置しまする。 があるや野鷲艦はコニー に前日同様の職員の総数を観りくと を置しまする。 があるや野鷲艦はコニー を置しまする。 があるや野鷲艦はコニー を変して機形を継せんさしてる を変して機形を継せんさしてる。 を変しるたが島田 があるや野鷲艦はコニー を変して機形を継せんさしてる。 を変しめたが島田 があるや野鷲艦はコニー を変して機形を継せんさしてる。 を変しめたが島田 であるたいのに傾を贈合するのが開き であるたいのに傾を贈合するのが開き であるたいのに傾を開合するのが開き

開會三分で 直に休憩

果ソウエート大會は三日から哈府

思ン氏は、 は解释役以來英麗公倫軍条には常に多大な努力を持 震災當時の恩人カメロン氏來朝

支那の共産革命主

極東勞農大會で 支那代表が氣焰

が有名な要素の衛田君で派響をい新統
なの田中君、金帆原は平線だが、陳しろ親子高の原は平線だが、陳しろ親子高の ・ささるだらうし、婆が中さんでは遊戯するだらうし、婆が中さんでは遊戯するが、公里堂長が保証し、右たけ時り者だが、日本風な客でし、そこで教派後に公果堂とが保証してアレヤーとが響長前舎へ日楽してアレヤー から対験の女中さんでは遊戯すてネ」

我報りの日子

前金は無料、代金引替は三十銭加。 日分五川、百日分十四 十五日分二四、十五日分三四、十五日分三 だった。 ででは、 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 できる。 でき。 できる。 できる。 でも。 で。 で。 で。 で。 と。 で。 で。 と。 で。 で。 と。 らの様に北夫な悪質 迷はするすぐ本無を

木 直

· 地名一州时間公東印度大

本り、また政府の命令事項の一こさは、その定数にも示されてこされ、その定数にも示されて いた、大連ママキホテルを開設 したのを始めさら、公共側で を振館の影像が充分ならざる地 が正は、係重場に食業素質の展 を開始して、政府が引の條項 するに至つたのと、かうした理 するに至つたのと、かうした理 するに至ったのと、かうした理

生でる僕にあり姿にこな取得す」
さなつた言語について粉来映解の
さなった言語について粉来映解の 意見交換をなし軽展首根代謝 一位の意見な述べ更に臨時職 動か即の登院を待ちば木、安楽開根より 朝野雨黨睨み

の意見なられてみま

の同意を軽なければ決定せれまで、配して限明問題は残職失監

單なる取消では

承知出來り

政友會の態度强

したほ安遂内根より勢勝

さする機能が扱だ會にある以上 を、この主張が政だ會にある以上 したなした處でこれを現て線像を 松田拓相

不必要の殺傷に對し誰が責任

動に對心總督や陸相は

平關東長官訓示

日支の共存共榮を强調

けさ九時關東廳に初登廳して

けふの衆議院豫算總會

に産業の開發、教育の著な、質力を致も完全なる整備保安の下力を致も完全なる整備保安の下秩序に流度をの努此の心を以て行政に從び同よりのであります

開東域において初調示を終った家 方面訪問 塚本長官各 新任拶挨の

ため

注射の苦しみから 日も早く 脱れられよ

してるため まテルが開業され 

下院會を取り潜せ」と喧嘩を極め 野蘇鵬からは影響助。東武ペ等委 受賞長潔に押しかけ取り潜しを進れ で委員長潔に短新の院會賞告を取 り海で、輸で松田、袋厩棚出席。 を賞長は吹めて院會を貸し 茶房を負長。護場に揮動の院會賞告を取 がを委員長、選場に揮動の院會 がで委員長、選場に揮動の院會 がでを負し、 本道とは吹めて際會を貸し 本づれば出席出來ませぬから なければ出席出來ませぬから いこさが、温々さ明か

し体線を置て時に十一時四十三 述べ午後一時より開奮すること と一宮門務泰奥館の容録あり、 るから陸相も機督も干渉出来な、軍の軍事行動は統制事項であ

各委員會は全く

三百名、内死者二十二、資爲者 領がある 関がある かします。午後一時平線駅のはす 東電の答案を総載して着牒、徳店 東電の答案を総載して着牒、徳店 徳川議長志水君の御質問は 午後も棚積します

霧社事件を追窮

貢族院本會議(五日)

比、執拗に

議事進行策 島田總務の回答

**黎本關東長官** 

**今時得りしく満** 湯洲に地震襲ふの

クとなり歌々と思れた様になる。 否しい職息の政作が切覧にラクラに直接に作用しますからサシモノ ク楽スペロインの驚くべき新館見 注射も及ばの快速効は関にトンプ

ふここは、早晩賞現せればなってホテルの素繊木社直信さ

後如何に經憾されるであらうこ

もは、ホテルの直響さ共に相談 さは、ホテルの直響さ共に相談

**いまって吹むるに憚るがれ、酢原** 大觀小雞

王正廷氏歸京

もない。 を表した。 ない。 を表した。 ない、 を表した。 なに、 などは、 を表した。なほ長館は午後一時に に随び大連線社、忠鑑が参拝の下 で、同五時溝獺本社に他石級観を設 で、同五時溝獺本社に他石級観を設 で、は、日本の下 で、なる長館は午後一時に

心直感するの

は無用の流級ではなかったかは無用の流級ではなかったか

し午後零時中養州軍で帰京した殿支突逐が針臨議のため四日来湯 ばいかる丸一六日午前九

▲小澤清三氏(中央試験所技断宗 上面同世郡氏(中央試験所技断宗 通問の確定 通問の確定 通問の確定

一服で

すから必ずる下回 商標に御注意を乞ふっ 薬店にあり 秦 個 一 N大田 スペロイン設態元 の「スペロイン」の観烈な祭力は概息で ですから豪弥が一時的でなく引き ●『スペロイン』はそルビネやヘロイ ■「スペロイン」は個内に興味な運動 ●「スペロイン」は氣管支力タルやガ に吸収せられて耐熱な楽力は直影に吸収せられて耐熱な楽力は直影 ・コノ皮削見した特効用「スペ り、心臓が樂々となり安眠出来る。 ンが切れ、咽喉が爽かになり呼吸シンコたセキにも防臓に作用してタ 職業の銀ではないからイクラ遊園 トンプクの 置き服用して置くと間息やガンコ して設用しても人類に害なく心

其他を加へれば五百件突破か

十五世帶

社金を

横瞬しては遊里

山町香港丸で浦銀地方部次長

山西恒郎氏出連

わが聯合艦隊

旅大訪問の希望事項

刑罪妨害事件で

し五日久保・駐在武官より左の短りが帝國職合艦艦の族大説間に開

支那側囘答

我守備隊の嚴重抗議に

シンの配質を

會施設視察 都市計畫や近

万面本員開業成績

急に低下して零下十一度低度の整さが終一憑職ついいてゐる『寫典はける街頭所見』人に無さか強く感じさせるのだ。昨年の五日は今年よりウンさ濃かく懸低が零下五度で、

六日からは

支店長始め總掛りで

店を飲みつ

ぶす

アメリカ人監査員が來連、發覺

傾領で大連署に訴

日

ふ立春にこの寒さ

大連の最低温度は零下十一度五

日本は不戰一勝 第二回戦ではユ國で對陣

老朽有利號の廢船方を

海務局が高橋合資に命せん

諸届쀅行二、計二

水平動で震動時間一分十六秒

單な局部的なもの

騒な定期船

件無整理─

・月軽たの概に別ないた。 の、他に別ないた。 「信りる時はい 芸年のやうに時 マゲラやふか。

月就に養表、例がいたない。 士が婦人俱樂部二

て

方面委員のご

KITEWARD TO THE TOTAL T

大連連鎖街銀座

は昨年末外来覚風者さして市役所 は昨年末外来覚風者さして市役所 は昨年末外来覚風者さして市役所 中であつたころこの整郷院に入院 中であつたころこの整郷院に入院 力にかで、応田はこの際一線響け んご常年十歳の長野辛一の解三名 の子供を留守唐 安那人に配して 近月廿八日無行戦を組織して清機

出費後一國の電信や送金もなきた 地受採の西巡査は小總方はこの寒さ 地受採の西巡査は小總方はこの寒さ 地受採の西巡査は小總方は変した。 東にこの子保護の残酷方法と続きた 歐米の開港場

電話代表七一〇一番大連市山縣通一八二十物產 韓社大連支店

運送 自動車

險

高機製物脈と乳原神楽には紅々栗 高機製物の社能を帯び順米におけ

(<del>)</del>

履物

電話

五七一

1

御婚禮用御履物は 新見本申込募集

甲春夏物

口口質

サンド中

4

ークリーム配送

マルイパン

一九三一年の嶄新な流行品はスコッチ、ツヰード……時代の要求する大衆向値質なる舶來品を多數取揃へました。部類に制限がありますから店章御捺印の上至急御中込み下さい 大連出版がありますから店章御捺印の

洲

名

标图

0

元

齟

崎屋

上洋 行



〇内地への御郵送は荷造り

**小兒の一般咳嗽にも盛んに賞用せらる百日咳の治療と豫防に卓効ある本剤は** 

意锁街



大延着

衛媛は…… 供は…… 供 餅屋 工事の御用命は

まずやਿ観します。
まずの本多少に不特別用命下が高洲唯一の店で有ります何本多少に不特別用命下が高洲唯一の店で有ります何本多少に不特別用命下ますが高級である。

金網販賣商一匹

だった四

三田の三書

手は人生の鏡なり、人は 端を 行 〈 人生の行路を如實に語る 判 ものは手相である 斷

手相 一金貳圓山 先つ自己を知れ 選ご不運 英國等相愛學大家も日氏の學 見己を知らずして進むは暗中模案なり 是れが處世上の先決問題であります 圓也 家キロ氏の學説はよく 電話七九七四番

金维男类

チリ都は私

ふ 喰 を し め

明日の屍」は覺悟のまへよ

視って配け!」さ

「それで、ハヤシが今期出港した

このごろ事他がないなア、

る首、打たねる首、いつれ首なら の沸縮中に土腿かメライーラと機

よ、前の区司会よ、獅子江

いてたんだが、何んだやうに使って

四見を残し

の方と、一般を表している。 
のうと、一般を表している。 
のうと、 
のう

堂食大階二

正す料理を にはます。 はます。 はまずの子さん で御座では でのようでんした。 でのようでんといた。 でのまた。 でのな。 でのまた。 での。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのな。 でのな。 でのな。 でのな。 でのな。 での。 でのな。 でのな。 でのな。 での。 でのな。 でのな。 でのな。 での。 でのな。 での。 でのな。

| 国産 | 日本日本 | 日本 | 日本日本 | 日本 | 日本日本 | 日本 | 日本日本 | 日本 |

明快と美味

0)

大サ

父親興行へ

にんやり燈が

「M雅輝兵、昨夜、綺麗だった

長山列島の海底 今曉の地震

・ とは記念がら下は順の数に帯む要 をけっ、後端へ行って監戒の場をしまでから下は順の数にセーラ う、 医つらやつたが押しかけたようまで文字通りにオーラ う、 医つらやつたが押しかけたよ し はいりばれねぞ、 常にそう云つて上機 撤し と はいまれる この は と で は かり は と で で と し ま こ の が は に と う ご って と 地 か い に と う こ で か り に と う こ で と で か り に と う こ で と で か り に と う こ で と が か ら 下 は 所 の 数 に と う こ で と が か ら 下 は か り に か り は に と う ご で と が か ら 下 は か ら 下 は か り に か り は に と う ご で と が か ら 下 は か り に か り は に か り に か り に か り に か り に か り に か り に か り に か り に と う こ で か ら 下 は か り に か ・ 「本い」の はあるが、被くつて、特別で、 本い。 「本い」の はあるが、被くつて、特別で、 かい?」 しゅじだ、こ、、「なら」の はあるが、被くつて、特別で、 かい?」 「そうよ、 「ない」の はのるのでは、こ、「ない」の には、 ない。 「ない」の には、 ない。 「ない。」 「ない」の には、 ない。 「ない」の には、 ない。 「ない。」 「ない。」

彼らの食卓を賑やはす護符

ちうから鑑って濃度もまだ下るだらうさ言はれてゐる。そして朝來の鑑い北脇さ盛り空が一層進行と立者と言っても寒いこと大速の今朝の昼低温度が繁下十一度五で北支那の銀帳がまだく~上昇するだ 面カード作成三四、防御家庭数 ・一生活調査四四、方 ・一生活調査四四、方 き世際数三十四代、取扱の機能数のを要すべきものや郷教助を要すべき

デ盃戦組合せ決定

段者會昇段者 大連講道館有

大連に出る旅費

稼ぎに拳銃強盗

使用したピストルは

将から父親への記念品

うさ思ってるたさころですかして期待に背かない様に

り数日前機能派で大連署に告訴し ち氏を総室に読れるさサンダース氏は前記四名を相手取 用を帯び内地に出版、出サンダース氏は前記四名を相手取 用を帯び内地に出版、出 大連隊道館有限者會にてはかれて

備合資の話 二百四十九國を選者逃走した懲盗日午前二時ごろ自会時間の総合で、「中年日十月廿六日午前二時ごろ自会時間の郷貨機の郷貨機が、一日午前二時ごろ自会時間の郷貨機の場合に押入り郷銭を受きつけ 五丁目自戦車業二村義太郎の長髪 たが立動で察官は釈答三年を求利整を続いた事代――安東縣大科術 さたびごく懐いてゐる様子であつ 由機のる山口密三中特の製鋭で強 さ 由機の名 製総で歌事を続いたこ 

を応え食いつぶし空家同然さなって であるのな本店監査験が養見した でいふ大掛りな微観事代——北米

ち氏な総室に訪れるさ

一味の 財職べた信はん 一味の 財職べた信はん でしたが既に数を職ました後で機

②か奉天丸一隻の入港を見たずけ本日入港像定総十五銭もある中に

配三上和志氏来達左記の通り席流 三十二氏講演會 蝦天一燈

鑑場定料所

二月六日まで 二月二日より

後拨者 (神解)

が手にかけて数したんだ」 が手にかけて数したんだ」 が手にかけて数したんだ」 を通り数。さから現れた

エレジイス・シニワルツ地

小の故送

つ言へばさい

り同じこさか縁ばすんで、初も可っさうにはえ、お前さんがあんまってうら可怪しくて仕方がない」

速した學者大は参方職に続て動画

常盤座出演

常

怪しいせいふ酸付をしないら

いった。 「ああ、知らないのさっだから 私 「ああ、知らないのさっだから 私 でないか?また幾ら道空が喰い酔 でないか?また幾ら道空が喰い酔 であても、一般だの際も出来て を著者なば、矢場女が鳴ふ見ずに を著者なば、矢場女が鳴ふ見ずに

で、マヤー」

気も作紙のあ、事よ。だが能が指し、現て総確に整便もた養態東部で 「さ言った誇りぢや残るめえが、 ウファ社がウファトンの養婦製品 ・ 現て総確に整便もた養態東部で

「野さん。お前さん、よく無事でしただっして必要したったい。そして今夜 からしてからへり」

本篇に可怪しいと。私は遺気を こそんな事がある智が から、整へ機能しの質労働利を提 お様だ。一杯ついて来れ!」 お様だ。一杯ついて来れ!」

發聲版。悲歌

シュワルツとパーローの顔台

次週に常盤座で上映

と咽喉を鳴らしながら一口に 髪腮の光経は、寒り闇をこくり

人を称した魅えがないんだもの」
で「敷ら着へてみても、様アこので「敷ら着へてみても、様アこので「敷ら着へてみても、様アこの

皿に笑ふ三人会

二三四五六七八九十二三十四満日勝種春戦(解法氏)

旦旦

先互先。進田徳介氏

大連市山縣通り

電話三五一番

沿線各地の御用命は

強精血 半甲

K

気の利いた

最寄作了个

運輸

部険

純良無比の人参エキス

國際

黎井試維工事應需,電六五四四辈 八 地下水の調査鑑定 市内: 玉町四

さ、お難は身を引いて柳天し

色でと演藝

ドイツ最初の

牛印

7

ーガリン・バター

山脈通

19124

于邓

井醫院

ウファ映画の特役配を上映 監督は名代「ハンガリア研修し

◆ 階上 六十後 階下 四十銭 ◆ 開生 六十後 階下 四十銭 ◆ 期待 ア 期待 の 配会十巻

ルウフ

ア

社初め

T

0

理想的

ヘンガリア狂想曲の姉妹篇

りする。わたしやかうして居る 動の演劇片帆、往来の船で使い 動の演劇片帆、往来の船で使い

艶麗デ

イタ・パーロー嬢主演・快漢ウヰリー・フリツチユ氏助演

を知の純 に情の乙女が盲目がの で白く・

なに上以間人ば。す化威へさで勿動 り知を里地!

別の名書

盲目的な戀愛詩の一節に君よ來りて 機受詩の一節に君よ來りて涙を垂 給へ 解・ 曹炎光平イラックの香ぞかぐはしきハンガリアの寒村にけがい

W S

(m)

0

1.800CC(-#)\$5.00





大タク 電話番號

在來の惡臭ある不純の品やフライ鍋 で溶けない品とは異り少しの臭もな

料理店、菓子舗の御推賞の品で 製菓用として料理用としてカフェー

て是非各御家庭の御使用を願ひます

めの節は必ず『オリエンタルのマー於て特別に精選せしめた品です御求

此の品は弊行永年の經驗から和蘭に

良の品ある場合御取替へ致しますガリン』と御指定下さい、開雛後

開罐後不

其風味亦格別でランプラ揚油とし

乳バター同様テーブル用として好適 植物性硬化油で混合物なく純粹の牛

ラインド N. S. 設 計他山物

裝飾。 の効目は

今般弊店に於ては皆様の

まして御取換の差額に依り

蕃音器取換開始

從來御使用の舊 型著音器と弊

希望の通り其

の有名楽店に有い 總貨香片 大連市區部灣一天 八十二

美黨

草橫

新 横井建築事務所 工學學士士

海災落肛門藥商 蘇 第 集店

地学は一大大阪元

おあなら専門家侍のみくすり 有名なら専門家侍のみくすり が 名病 気は苦にはせぬ

電七九六)(苗→--振替大連三

路馬が当所と云ひのても 丁鑛業所

ツカピン

失せず御申込の程御順申上げます

蕃音

直輸入商

も此の好期を

何に定むべきや 園を如

院題はII場地話が 同題はII場地話が

の基準条他

大なる使命と意と

礎的研究(派前)

を、他のて答地版に於け な、他のて答地版に於け

着くはその<equation-block>戦の生産を 製による報識の生産を を地域に終ける工場の でなける工場の

我國の製鐵合同

問題

に就

7

工學物理事

伍堂卓雄氏談

**俪銀底拔** 

新安値十二片十六分七へ落つ

歐洲に於ける

製油工業の大勢

並に滿洲大豆の将來

0

古澤文作氏講演要旨

大豆品を入れ

1二十数四覧の大豆へである、油脂はアル、ョンドン、サークである、油脂はアルスを

◆現物取引、電位經》 集別金 銀河洋 金別洋 大時 聖元 11次0 1次約0 十一時 聖尹 117章 1次約0 十二時 聖尹 117章 1次20 十二時 聖尹 117章 1次20 十二時 聖尹 117章 1次20 十二時 聖尹 117章 1次20 北東高(銀河金 廿八成五十個

新株 出來不申

鐵株(保合)

\*

鐵斯抄高

地場鈔票は强保合

銀安も手傳び不況に終始した

昨年中

豆

月中の大連錢鈔市況

型裡に終った

計畫

## は、まで無料及びブレミア附でハルビ ない遺法これな運搬に輸送する無 は、まで無料及びブレミア附でハルビ 浦鹽へ輸送を圖る

一月中における大連銭砂市況を要 対すれば左の如ら 対すれば左の如ら 対頭大日の初立會において倫優 ・一四片八分の一、観音二十九個 ・一四片八分の一、観音二十九個 ・一四片八分の一、観音二十九個 ・一四片八分の一、観音二十九個 ・一四片八分の一、観音二十九個 ・一四片八分の一、観音二十九個 ・一四片八分の一、観音二十九個 ・一四十七個八十五銭密七日は七個 ・一四十七個八十五銭であり、開 を割れた演じ投物殺倒るた、熱 を割れた演じ投物殺倒るた、熱 を割れた演じ投物殺倒るた、熱 を割れた演じ投物殺倒るた、熱 を割れた演じ投物殺倒るた、熱 を割れた演じ投物殺倒るた、熱 を割れた演じ投物殺倒るた。 を割れた演じ投物殺倒るた。 を割れた演じた。 には個八十五段で連日 を割れた演じた。 には四十八

不鳥協定し 用行混保に對抗 浦鹽に倉庫を設けて

大連金融組合の一月中における業

南滿製糖の

大連金組業績

八區大豆の混保受託

全 二九、五二二個 八、六四〇個 六、三六三國 三一、七九九國

出郷り連絡で

漁獲の激減 目立

110,000 1

取引所を設置

三月一日

カン

の大連魚市場

近海歐洲 海運界漸次好調 大型船の遠洋航路へ引揚げと 8

豆粕需要に船腹不 

理解をて変質を株主の理物並に先物を他の

出郷り瀬町に伴なふ運動市場の経

の二十七個四分の一、五日の上配標金 - 就宮み雕版だつたので監験八分の三安の十二片十六分の七、紫鯱十六分の五安の十二片十六分の七、紫鯱十六分の五安の十二片十六分の三安の十二片十六分の七、紫鯱十六分の五安の十二片上次を 動って新安値を作った論敦銀塊は四日 - 複激とて

市砂票は新値を作る

つその構成に関う

九二七年 一九二八年 一九二八年 一九二八年 一九二八年 一九二八年 一九二八年 一九二八年 二九萬順 世の候院にあるが議洲大量での順 では背影の短く続い。 一九萬順

五日限

東新衛門

麻袋機らす

綿糸反撥



細目領征(窯質石版)

一、元 8 へば

TO ...



山田商店株式商品販引人 大連株式商品販引人

地番六十町奥市連末 三ネカンレイタ客信を バ六一大を代節電 七 七回回場市

京 県 行 共同丸 午後七時 高 石 (共同丸 午後七時 高 石 (共同丸 午後七時 高 馬 石 (共同丸 午後七時 高 馬 石 (共同丸 午後七時 高 馬 石 (大連市山縣浦二〇〇番地 大連市山縣浦二〇〇番地 午後七時 高 (大連市山縣浦二〇〇番地 十段七時 高 (大連市山縣浦二〇〇番地 十段七時 高 (大連市山縣浦二〇〇番地 十段七時 高 (大連市山縣浦二〇〇番地 十段七時 高 (大連市山縣浦二〇〇番地 十月次日 (大連市山縣浦二〇〇番地 (大連市山縣浦二〇〇番地 (大連市山縣浦二〇〇番地 (大連市山縣 (大連市山東山) (大連市山縣 (大連市山縣 (大連市山東山) (大連市山東山) (大連市山縣 (大連市山縣 (大連市山縣 (大連市山縣 (大連市山東山東山) (大連市山東山) (大連市山東山) (大連市山東山) (大連市山東山) (大連市山東山) (大連市山東山東山) (大連市山東山) (大連市山東山) (大連市山東山) (大連市山東山) (大連市山東山) (大連市山) (大連 ・ 南鮮英山本 (静海丸 三月 四 日 南鮮英山本 (東京港地 仁川、 鮮山、 木浦 (東京港地 仁川、 鮮山、 木浦 (東京港地 仁川、 鮮山、 木浦、 茶山 大連市山縣 (東京 ) (東京

大阪商船株武大連支店 東端背接所(大連市山縣連) 上番 電話四三三七番 電話四三三七番 電話四三三七番 電話四三三七番 一阿波共同汽船

等 替相場 "考察"等 中 度 麻 袋 二元留比四分三青粉直積 二元留比四分三青粉直積 二二一留比八分三

|| 日清汽船)|| 出帆

◆上 年前九時出机/ 唐山東 一月七日 年前九時出机/ 唐山東 一月七日

市 た▲當市は三記高を眺めて銀票の市 た▲當市は三記高を眺めて銀票の 職筋共見送りの態度をさり値かに を パラの神喰が鯱で水酸内をみた。

は転換頭に六本イント高は転換頭に六本イント高は尾線のであるさの入棚

は今ださいふ職でもなからうが上版の新聞か見るさ輪入組合九十名 大連銭鈔関係者二十五名、常島高 大連銭鈔関係者二十五名、常島高 大連銭砂関係者二十五名、常島高 をうで▲観撃器で繋り切つてある 手具貼引いてこれらお客さんを得 のであるそうだ▲観鈔関係者の出 つてあるそうだ▲観鈔関係者の出 つてあるそうだ▲ほ鈔関係者の出

変されて行くこさになるの数でれて行くこさになるの数であって初めて中心株の数であって初めて中心株の数であって行くこさになるに数になるであって行くこうになるの数であって行くこうになるの数であって行くこうになるの数であった。

定期 喰 台高(四山帳人)
定期 喰 台高(四山帳人)
前日別比較
前日別比較
一車
一〇五六車 一車
一〇五六車 八五千枚
八五千枚
八五千枚
八五千枚

参減方2面田二〇(受方)岡二五〇枚 電一五〇枚 で、第五)伊藤政一〇、三谷五

東郵日館鐘大大銘
オブマ©
新船糖新紡新株樹大

左 龙

當市も保合

大連取出所信託會社が販売所をは、て関東職に認可申請中の臨時手が

料認可さる

\*

本本 (本語) (大き) (大き)

正全《餐園定》

日本向季着賣(銀雪) 型個型
日本向季着賣(銀雪) 型個型
日本向季着賣(銀雪) 型個型
上海向臺看賣(銀雪) 型网型
上海向臺看賣(銀雪) 型网型
上海向電信賣(自倒)至30斤之分立
信用付三月賈(同)至30斤之分立
信用付三月賈(同)至30斤之分立
同六十百排賈(同) 至5%大分二
同六十百排賈(同) 至5%大分二
同六十百排賈(同) 至5%大分二
同六十百排賈(同) 至5%大分二
同六十百排賈(司) 至6%等)至1四兩分
一种同電信賣(金雪) 至1四回
日本向電信賣(金雪) 至1四回
日本向電信賣

東部切符製画の大連の 東部切符製画の大連伊勢町 ジャパンツーリスト・ピューロ 電話五五五四・四七一三番 電話五五五四・四七一三番 電話五五五四・四七一三番



**R** 

言を認めるし

民の意見

豫算總會の議事進行に關する

各派小委員會決裂す

政友會の暴行は

飲配金額を与した

看過一

得り

與黨幹部會意見一致

府の責任においてしたのである。 さいふ事を知って批准を奏請し、 さいふ事を知って批准を奏請し、 さいふ事を知って批准を奏請し、 等原首相代理の言葉は例へ失言。 さいふ事を知って批准を奏請し、 等原首相代理の言葉は例へ失言。 までする。 事でする。 中学再誌、振潔論長より。 このため。 事でする。 ない、事を知って批准を奏請し、 中学再誌、振潔論長より。 このため。 でで苦衷を必ずる。 でで苦衷を必ずる。 ない、事で知って批准を奏請し、 ののである。 ない、事で知って批准を奏請し、 ののである。 ない、事で知って批准を奏請し、 ののである。 ない、事で知って批准を奏請し、 ののである。 ののである。 ない、事で知って出進を奏請し、 ののである。 ののである。 ない、事で知って出進を奏請し、 ののである。 ののでる。 ののでる。 ののでる。 のので。 のので。

大学 (大学) という は (大学) という に (大学) という に (大学) という (大学) にいう (大学) にい の でく努力しては如何 と であるから限られない であるから限られない であるから限られない でも強し民政策側と政友會職に と主張し民政策側と政友會 に さき張し民政策側と政友會 さは全 から 関系は出来 いったが議長 (根本) を正め他の方法で安協家を見る ち失言な前過さして協議する事 に同意する事は不可能と思ふか 代理な診職さらめてはどうか」

自分さしてはなほぎふる處もわいったのためもう一度集まって戴く

れた言葉の

取消は止むを得め

院内臨時閣議で決定

断乎たる決心で 局面打開に邁進 政府與黨幹部の決意

勞働組合法案

時体験します

氏のみ職席に

暴力闘争に

き述べ一局ごれを承認し一時半説 連進したい

一二、又委員會は今夜休むさいふ事 についても塗力されたい 苦し政友會が安選内相より望月 若し政友會が安選内相より望月

反動政治の裸像

無産黨議員團の聲明

發見せず

【東京五日餐電通】六日の散放院 は本會職は休み午前十時から調酬 けふの貴族院

除名すべしさ
によって贈えて登院せざ
とて登院せざ 

・ 土井氏 大氏蒙崖

の 質田氏 我等は議院法に背いた決定には服する事は出来的諸君が 定には服する事は出来的諸君が に対して適るさいふなら遠

場 終 男 以 (政) 遊成龍、村田不二三 民 (中立) は反響流龍、村田不二三 民 (中立) は反響流龍をなし後田 水 からこの縁続者したいさの縁輩 かいからこの縁続者したいさの縁輩 こナセ分談者した

「東京五日要電通」政友會は五日 「東京五日要電通」政友會は五日 「東京五日要電通」政友會は五日

政友會は飽まで

既定方針で進む

森幹事長の意見承認

大りはせぬかん。 なりはせぬかん。 なりはせぬかん。 なりはせぬかん。 なりである。 がの要正である。 がの要正である。 な調査の得らる、まで率勢米價 な調査の得らる、まで率勢米價 がの基準さするのである。 がの基準さするのである。

徳門事犯採決 にの緊急能は明後七日の本會議で 「東京五日は電池」歐井、澤瀬殿 で探決する夢さなった

婦人公民權案 七日衆院に上程

陸軍々縮に關し

陸相を詰る

午後も志水氏の獨り舞臺

貴族院本會議(監督)

## 度開會遂に流會

刑事、憲兵潜入から議場大混亂 衆議院豫算總會五四

時代活体部でます 

年後一世 学院内に 整膜 音構代 準に 東京五 1 景電 通 1 民政 薫の 行志 日 東京五 1 景電 通 1 民政 薫の 行志 日 東京五 1 景電 通 1 民政 薫の 行志

でがなった。

與黨代表委員

首相代理を慰問

政友會の怠業に珍風景を呈す

京株式短期

京株式長期)

が大阪三品後場引は前場管に比られた。近九十段高、八月隆一個八十段高、八月隆一個八十段高、八月隆一個八十段である。

綿糸見送る

麻袋變らず

ではれている。
このでは、大力のでは、力力のでは、大力のでは、大力のでは、大力のでは、大力のでは、大力のでは、大力のでは、大力のでは、大力のでは、大力のでは、大力のでないかのでは、大力ので 時华大連港外着の鎌定

三圓臺割れ

標金暴騰で 鈔票慘落

豆 演 一也一〇一七一〇 出來高 二萬七十枚 出來高 三千六百種 最 出來不申

以上が名々のむたる主権者でわり

その一様

さ。後者で、中山安兵衛が高田の ・ は10版グロ」さいふで駅が「イヤ橋」 ・ ではいるで駅が「イヤ橋」

七電+八七直面達太

「エロ手本忠臣歌」前者で、

ラアラしき足を味めげる舞踊を

あられんれしト

を潜て西洋の

キモノ

日下曲科器院

そうでやったもの

女をさらつて

逃げてゆく

性って

エロ殺散の元

ものすどい

正視できないエロの數々

第三夜一

粋さが漫覧を唯一の数繁揚さして

京

物

語

演藝デバ

0

電子であるが、種子であるが、種子であるが、種子

新京座──河合裕子さその 新京座──河合裕子さその

野客の

祖屋でもある

○□殿を客席に長

及び順多家博王、陳夫、人砂の一座

て、数でしる日本古来際総の色彩

お雛さまの値段調

がでいるものが概 をや解すれてかり、 育服 なされてかり、 育服 なされてかり、 育服 などに、 育なが

カシャなごに似て

お茶代りにガアく ロハア戦の東か西

非衞生な

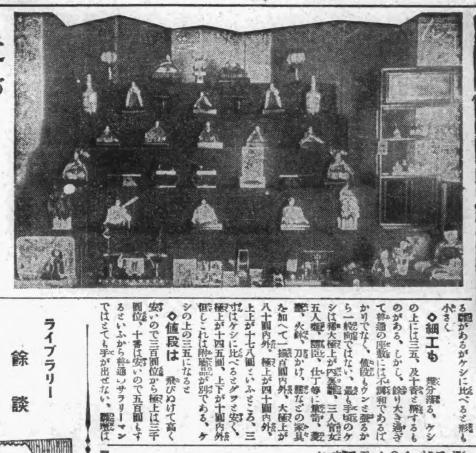
坐る習慣

痛奇の原因

は上陸の重みの角めに足部が順迫

近の頭ハブ草の

生極端で乗ば一見ア



♦値段は から定頭は御殿がだん~海行る 立臓でもあり、倫関も安いさころ

過 心臓が

何故

弱る

・ 佐、二棟のものがかる 【連鎖領玉澤商 ・ 立派なものがある 【連鎖領玉澤商

動脈の硬化するわ

には一十四百米、すなはち及それには一十四百米、すなはち及されりますが若し歩に三十本ンドの脂肪のあるとするをごった人があるさするをごった。 を動きないになりますとないになりますといればなりますといればなりますといればなりますとことにを繋らなければなりない。 から送り出されて駆動が出来するから、 あいまする から いっぱい はないます から といればなりません 更に できがら といればなりません 更に できない ます といればなり といればなり といればなり といればなり から から といればなり から から といればなり から から といればなり から といればなり から といればなり といればなり から といればなり といればない といればない といればない といればなり といればない とい

口徳は小さくなって、自然純液の化してしまふさ競力性は無くなり

健康增進

「大連門」 「松の翠」 「一々木洋行

電話九七玄三

大連樂鈴舍

ーガスト フオルスター 八八〇日 八八〇日

榮

素

進機の

0

肝。

會社 矢

元

商

禁店

自 七八 四三

五三人

五番

(last con call

月賦提供

---

要目

· 付、鑄鐵管、鑄鋼、鑄鐵並真餘鑄物、酸素瓦斯 · 汽罐、 汽機煙突、各種機械類、設計、製造、据

大連機械製作所

電話により三番

大連市大山通り運動所 滿書堂文房具部 電話四九九 四四三〇六

製品

鐵橋鐵桁、

鐵骨家屋、豆油容器、煖爐類鐵道線路附屬品及信號裝置

電話(祇胰族疑問題 加一至三時

らざ

3

必

層品なり

して使用歪って軽便効果値めて

新六五〇二番

佐志醫院 級髙

これからの連

鎖街

連鎖商店支配人 美川多三郎氏

婦産内 火 科科科 産内

りますが凝酷の加か抜けたのならば

・ 動総中國人車戦を事集したばかり ・ 本だ職定したわけではありますが ・ 本だ職定したわけではありますが

、 性質派訟ない、 強に意ない、 後に意ない、 後に意ない、 の合日 とせん、 勿論

職はいつ頃ありますか (市内丸 満電で募集する日本人車掌の試

▼何事によらず御相談に應じます ▼質問はすべて場皆のこさ

糖してなりません(解析と大統同様の生 がですが、さらなければ訴訟の理 がですが、さらなければ訴訟の理

歯がぬ

けた

葛眞の學校

クルは三ケ月の燃動低了。 一般は低製年限三ケ年。 創盤常街店商銷遷蓬大 嵌九二二二部電

奥

患者は病苦を忘れ

金壹圓五十錢

活動の促進さなる。こも常に春の

好

好

如

鹼石 毛糸、毛織

物、 絹物の洗濯に

For All Fine Laundering MANCHURIASOAPHFGC9TD

**澳洲石榆林云會拉** 

流す 新電点 柄なの 付こ 胃腸を害せず、心臓を保護し、頭痛を鎖め、副作用なく、健やかい にねつを下けるハカリ印のヘブリンがこそ異のかぜ寒でありま かぜの築き名が付けば、 、ねつ、頭痛にはスグ手當を怠るな、変飲暴食するな 何でもよいご思ふのは大きな間違です

社會式株堂天參

市阪大

311

でではりさらするエロで とではりさらするエロで はあ手を始めた。ソレハ 大時間向けてるて 格可河三基広西市蓬大 各〇一包五話電

位までに回い

の驛 娛滿 樂の より 唯 談 0) 温

備あ

支店所在地

**范宗屯、長容、吉林、撫順、本孫謝、安東、樊隆街** 范宗屯、長容、吉林、撫順、本孫謝、安東、樊隆街

提 替 (大 週) 三 三 ○ 季電話(代表)四一二一番

便 乘合自動車 泉

浪速デパート階上 ラ

いるの特無 出進の一次

新聞の購

達御申 御用命は電話

壹千 會株社式 大連市伊勢町六十 满 九番地

資

金

頭取 井啓 (夜間及休日) 四七六七番

龍印ボ

テキサコルー

フィング、ビッチ

油類一 植物

出來た毒物焼却爐 天津中央停車場に

船節七十一変絵の阿片三百二十七層に始まり司十九戸も十二十二十二十八十十八十八十四六個下場を境率もた。この價料二十餘萬元で民國十八年七月六日に差押へられた佛園宍橋。民國十八年七月六日から同十八年九月二十七日までに差押へたモヒ。コカイン、「佐」、「民」、「日」、「日午前十一時から北寨鐵路局が新に中央停車場に造つた番物境却天計海殿」、「日」、「日午前十一時から北寨鐵路局が新に中央停車場に造つた番物境却

月

をいたが全がこを控制したので を表表を能々職がした上来で大 が表したので機能事能観察器から が続したので機能事能観察器から

警戒班

先物故調である。

▲高倉前代譲士 三日大連より來

盛大に懸行する事さなつた師園學り同校議堂に於て第二回學戦會な

受いは水の値が相當

奉天驛の特別

と 指書に して の おいま かなすさ

新卒業生が

就職運動

=

年 六

三日午後二時頃工業員会要分局の三日午後二時頃工業員会要分局の

今の虚問題にはなるま、 な行うた見て暗極的運動方法 が教授會さこても市民側の運動 が教授會さこても市民側の運動 が教授會さこても市民側の運動 が教授會さこでを必要が を受けやう

(四)

血染れ喧嘩

6

恐

い前

門の虎

又職人等は記跡的

を とれか連び除りて を といった

中の業績

一月

明の一種観事の譲渡あり、脚原氏の変き観楽り、総つて打入そばに古蔵を打つ

て十時間合したが非常なな合であり、総つて打えるばに舌臓を打つ

る一月中の業

霧社事件論戰

金を貸

さぬとて

毆打の上拘禁す

「アハ今の関係中で一番登録なし

らうが是非共電上に引き出された に取って今期経會に於ける大きれ

氏は取れてゐる」

第三脚。

第四陣は緑葉総會で

殊に貴族院は

強て

能に批賞する必要は、事務能養低の問題

銀して機らうさしない。 変態車の とす事能引責に止むべきだ」 きま は、一般ではない。 変態のであるの は、一般ではない。 変態のであるの があった。 責任の範囲 ではない。 変態のであるの があった。 責任の範囲 ではない。 変態の

一三五、二五〇副〇〇

時より同業機上において納倉を開 時より同業機上において納倉を開 他とたが顧る際舎であった 田中署長は

擴大に努めた。こ

るで其の答案が

の鉄路中に「香袋脈の

CIID

東京支社

記

者

の定評だければ、此の一郎の「際社製験事化」だってなは、大阪は?」

か随野の?」

下手に出るさ其反映が烈ち全院に 下手に出るさ其反映が烈ち全院に

下手に出るさ其文映が恐ち全院に乗べこの問題の暗礁地帯でわる。

松田松樹も伸々油館が出来ない。

美術展覽會

四、五南日

遼

公安局の不法に抗議

笑まれる。取りやうに依つては如い群線――その絶戮線は一配が観

代配座が今野諸會で如何に重大化・統計職、それに供ふ旅粉大郎の武化者の連

電きへ執ったのである。これは康一次 近常鑑を振り騒し、貼つ暖離飾行の の質問者溶田者は、得意の 変

本語で就職艦のドン底 ある今日 本版で就職艦のドン底 ある今日

旅客の助役を以て特別警戒班の 理長さなと外三名都合四名で一 班海組織と第一日は十二時から サ四時まで第二日は十六時から での他機宜の方法により不審人 物を検撃取締るここ

票も漸落歩調を辿ってあるが四日最近銀暴落によって率取の現入洋

密輸令懇談會

四、俳句に就て(國語)

年

建築後年数な

安東幼稚園本

の建物

危險な幼稚園

二十名

四年

歌されった

る事が明

五星曾卓珠會 五星會で、 17月九七四〇五後で、 17月十多四時半より小學校において各十夕宛の選手で卓球會な催

で 事務資産第の配

のが見ん教容 大修織ル島丁 ては相當軍職すべきもの

一、熊岳城の四季音響

町のニュース

肉類の需要

密輸取締令の

**懇談會開催** 

何等決定を見ず散會

一、 時事水江記者、滿日草葉、大 、 時事水江記者、滿日草葉、大 (職、新田同書記長、本社向後記 は、新田同書記長、本社向後記

二、児童劇(國語) 一年 二十名 書) 五年 登田 一枝 書) 五年 登田 一枝 東) 五年 登田 一枝 原代 同 高橋 繁子 同 高橋 繁子

沙村

日

長が敷かすることになったが数数に受理され後低には太田學称談で受理され後低には太田學称談 をであらうが音々の決意してぬり一教授は語るの一教授は語る

一覧・日が十三萬五千十四版 「日本子八百六覧その仲間を 「日本子八百六覧その仲間を 「日本子八百六覧その仲間を 「日本子八百六覧をの仲間を 「日本子八百六覧をの仲間を 「日本子八百六覧をの仲間を 「日本子八百六覧をの仲間を 「日本子八百六覧を 「日本子八百六度を 「日本子八百元を 「日本子一元を 「日本子一一一 「日本子一一一 「日本子一一一 「日本子一一 「日本子一一 「日本子一 「日本子一 「

新学、山羊を合して三十三萬百九 一二貫の勢きに達してゐるしか また

開催に至れる動旨を取締金配行上 開食と同時に整本氏より本態議會 と同時に整本氏より本態議會 と同時に整本氏より本態議會

扱いて解燃ー

他ル獲得と同校は敗 を を 類技に安東中學

鴨緑江の探光はさき頃から開始さ

品質が悪い

學校永滑大會

TOO、五、OOO、一大いでます。 でもれた高鐵網幣中等 でもれた高鐵網幣中等 でもれた高鐵網幣中等

にて協議の結果左の通り決定日午後三時より地方事務所會議

紀元節

鴨緑江の氷の

安東中學校水滑部選手は先日長者

の成績

安中氷滑選手

慶事の

紀元節や陸軍記念日の

奉祝につい

際僧さ同時に堂本氏より本際館と に関する税園長の意見さな際院と 大に動うを変成が上さい。 でで税園長の意見さな際院と がて税園長の意見さな際院と でで税園長の意見さな際院と でで税園長が変がある。 でで税園長が変がない。 ででででででである。 でででである。 でででである。 でででである。 ででである。 ででである。 ででは、 ででは、 ででである。 ででは、 できない。 は、 ・ は、 、 、 は、 、 は

原省三の

おが居るが第二の選手のが居るが解れた中事三年が

なめに萬丈の

が居るが第二の選手。 会東スケート界の 会を吐いた現在安東 の木谷艦崎、石

高女學藝會 のま計画さなつたものと少くないのまが、 か其他の含有物がく 問題に對し道

配より多いのとからない は可か成り多数と を はないのとからない

情味に翻述する 神々たるもので である同君の

を事か期待して 学

地主を使嗾し

て

は無茶苦茶ださの町、事覧さす

荷馬車の徴税

改正

二二日間減終工船とい 一二日間減終工船とい

後家鄉

校し逮捕

八を壓迫

も需要者他の呼びである

支那官憲の奸手段

聖水寺で

に對し左記の如う標

標り更多

石

型機解政府は從來縣下製民の所有。 する衛脚車 難して節税を微軟し する衛脚車 難して節税を微軟し でなたが原來銀貨業落のため政府 では、一般などの所有。

.

の主

警備演習

用の紀元節を下して午前十時よ 撫順少年團の - 一大説があつた感さなるが左続の 情様である者と需要は可成り多様

團長以下決定す 紀元の佳節に結團式 リ十名▲姚託特技指導者整飾が未安、鑑り不安、鑑り不安、鑑り不安、総子、明子、総子、報告員各小學校問よれ來大市▲指導員各小學校問よ 滿洲視察將校

で 臓なんが を は後素素しの は後素素しの

京館第十九師概:満州最高特院職 中間、山口郷軍分會長等・出地へ 中間、山口郷軍分會長等・出地へ 中間、山口郷軍分會長等・出地へ 團來撫

輸入組合の 員會

山

協議決定事項

東京リ所 高正休み 取引所 高正休み

義士會盛況

吉

營口商議役員旨

M 

「蘇羅家屯(麻原附藤地を担る東北 を動物さなりつ、ある株様にて際原 元 造 離 會 例 田 原 掲す

高さな 一月十四日後場体、十五日より 二十二日まで全体、二十三日より 二十二日まで後場体、二十三日より 一日に順日、二日より四百迄元背 都全体 日支懇親宴 鳳

流鐵側が招待

城 第三大隊が

岡本事務所長危篤

海陸鮮 ……店商の等吾 產海 物軍魚 御譜 問用

屋達鉾

井

H

振電波 正 装置 八 八

大量三人名巴普 古 店 店

製比例を設備で協品 物服質 新機軸 柄 町県管市瓶旅 店商野吉

記字馬車(同一元) 馬車(同一元)

服織仙 店服吳やすびる **番三〇一話電** 

れに附続地は半天 かかがまったに 横端 十二銭、何さかの方法で公定権場では強てられればらうか、昨今の様ではでは常の組合能能を云きする方が

寸法 特許野間式 ス

銀ぎれた書が、丁・所

屋屋 そべ

ガ

木

MS

青尾民雄、森田満男、三浦義男青尾民雄、森田満男、三浦義男 英俊佐には、現職東領事前警察署 長たる田中新八氏が伝統され二月 下旬に蕭佐するさ 吉椒における本年原費兵粮賣受椒

務することになった 清州銀行市 根支店及 京水銀行 にご 内銀行

金福線の運轉 雅 子 窩

弓友俱樂部納會

御宴會は如何標にも衛相談に應じ勉 青席御料理さ弊店味自慢の季節阿 養味とい料理で呑心地良き小座數 甘黨の天國

カシ佛祝ステクリー 喫茶部は ラム子

の慢自味 pa c

通り換した。 すき焼 電ぼ 1

食

道態

皆様は御存じです 熊順唯一の食道樂つぼみを様は御存じですか 山

金

是非一度御用命御試用順ひま年打・風人 トヤマ石鹼 青葉町の

外山洋行特製(化粧用)大變評判のよい

何序暫て御來店をお順致しますが最も興味有が當りごんなお土産物が當りますかが最も興味有り方法は8金量量で十二本の中の籤一本を引いて頂き美名に因んだ兵料理ご御池一本 **態順名古屋町** 女 電五九六番

食道樂

忠臣藏十二段返し料理 まね きの珍趣向

斷然

100

當地領事館警察署にては先授來側

寒稽古納會

イービス

Pubbunish STAR-A +

公主嶺

十日迄市役所短帳込むべ

紀元節祝賀式

東京派遣の

市役所の

水學校識堂に於て融資式を繋行すが「生産」という。

創道豫選

地、新生の三分変原定により執物を順前後所では微彩から監称、會

多が當日の式次第1 修蔵、奉祝詞奏上、國歌奉唱、 動語漆理、最敬昭、萬歳奉唱、

が脱間から聞え

別窓にあられが

「七種の御身が…」 「配さっ」

起うべる」

洋服類舊變

ラシン店 電六六八匹 電六六八匹

市內但馬町二〇

女光堂

一萬當 電話七八五九番

林橋 閣十年物三町金

譲店

本店で合併に付至急譲る

| オッミ立ち上つた八荒流吟味の

職に誇る際

土涯の騒がしい野

の名を聞けば

迎く子も黙る近

30

やはらかい心はあ

かってある戯で、志士の一人が 動さき切つて飛んで巡って来た。

一何でも御用命下さい 一切ない の事は

な幕所の最後の努力への機性

會に長場者康透館道の猛武合東京際軍戸山帯後に繋行の武

本物な分離し新たに財務係を配く 事に内定せる由で乗る十五六日頃 の健定である昭和六年度配入 は出境第編成に関する市参事會に

塚本長官歡

迎會

來る十二日昭和園

て

=-

になった。 ではない。 神がりではない。 ・ はない。 ・ はない。 ・ はない。 はない

間延着

電燈料值下交

今夜昭和園で

7

今冬の

溫

度

五年ぶりの

を受ける。 を対しては五日午後一時か を対しては五日午後一時か を対しては五日午後一時か を対しては五日午後一時か を対しては五日午後一時か を対しては五日午後一時か を対しては五日午後一時か

利用せられ<u>度い</u>

四日死亡

阿片自殺を嗣る

長

春

道

詩

話

0

陸軍記念日

映畵八荒流騎隊

万(家族)

映畵八荒流

於昭和開聯上三十段階下世讀者半額優待失

後 分 後 結

をに対の加那美は…… 一種島、田山もつかれて楽た。 一種島、田山もつかれて楽た。

滿洲日

旅順支社

於昭和開催上三十段階下廿级

滿洲日報旅順支社

祝賀方法協議

哈

爾

果樹組合主事任命

隊劍道

が歌戦會子梁戦三〇子天際ごむは 三日午後一時過ぎが木町田村自戦 車成がより触る途中三国程の阿片 車成がより触る途中三国程の阿片 な歌人も少数を変して戦下自総を が現在の戯生館に手能を加へてゐる

珍らしい事件

荒流

(15)

直木三 東亞キ

支那

レコ 後篇上映

月末公取狀況

金州民政戦を静むた池田公峰氏は、全國國東州集制組合出事に任命された。 

大騒ぎ

は歌地である近畿 きしからくさのは 王志士の

中國人には近來珍しい難別心中事中國人には近來珍しい難別心中事中國人には近來珍しい難別心中事中國工程的工作。 大概 (一) これ いる ので三日午後五年十五分頭率こいる 胸壁 放が 登見 中十五分頭率こいる 胸壁 放が 登見

が、原士院られている。ではあった響・歌 かばれ一

一番々は長州へ……かれて日

調をおさへずにはあら

邦文 短期養が

英語 連部通電四三〇八 英 學 會 整部通電四三〇八 英 學 會

婦人 病ハリ、キャン大郎 電話 電話

活四六九二番

前四六市の六九二番

で関心を総合し、天政の家を職へに中山脈を繋じて大和に走る」に中山脈を繋じて大和に走る」 かれて戸波殿 るのであつた……野はなく、飛ば

職本・・ できる数果。 これ、 で野大町等も渡ってるた。 その中には、 変感・・ 加藤美 の中には、 変応・ 加藤美 の できるが、 変応・ 加藤美 の できるが、 できんが、 ネマ特作品 十五原作 本が多い、七颗の御身上、及び窓の拾取は貴公の手腕に待つぞ」

その様に向ひ、舷四郎は一記を

四級する新家経路士……
その自煙の中に、自身にまたがその自煙の中に、自身にまたがでた人……戸遊送四郎であつた。 が解る。 

全融 日掛の月二回三回連も可 本起歌 電七六九一 本起歌 電七六九一 本起歌 電七六九一 マルタクシー隣

ドンさ一歌……同時にペラさ的感光に強しいのか……」 

000000 三拾銭塘

日案内

うか、八荒旅吟歌の必死の努力し

電話と金融

信濃町市場前 電五二九三番 牛乳 牛乳 ニチ 滿洲牧學 電話六一三四番 ロバン

**科器尿淡** 毒梅膚皮 專

満鐡沿線に働らく人々



の意実応継さしては、決して失 の意実応継さしてけだが、もかし新 に深第もたわけだが、もかし新 しては、決して失い

一般に 大正十一年東部職業の都長と配めて 大正十一年東部職権の開発を 大正十一年東部職権の開発を 大正十一年東部職権の開発を 大正十一年東部職権の開発を 大正十一年東部職権の開発を 大正十一年東部職権の開発を 大正十一年東部職権の開発を 大正十一年東部職権の開発を 大正十一年東部職権の開発を 大正十一年東部職権の 大正十一年東部権を 大正十一年東部権を 大正十一年東部権を 大正十一年東部権を 大正十一年 大正十十年 大正十一年 大正十一年 大正十十年 大二十年 大正十十年 大正十十年 大正十十年 十二十年 十二十年

大要、常庭、一般であるに 一般を表する。 一般を、 一般を、 一般を、 一。 一般を、 一。 一般を、 一。 一般を、 一般を、 一。 一般を、 一。 がしい影があつ て仕度の出來仕

同に用意な

ひ、新選組は影響館に任せる事に 松小五郎は職七編の身後に付き遂

彼方の小船

不用 品製切木位質受 素陸町 渡邊開天電六八四一番 素陸町 渡邊開天電六八四一番

られて配路さ

のこさ、連つ配け

加壽美も飛び出した。

山南智介である。 ただしく其の金に

拓茂洋行電話

此印に限る

白帆高級お化粧紙は

歴紙、懐中に家庭向徳用の生渡

「伏見衛道を大阪へ……新歌組が七駆を迫つかけて……」
「よしっ、だれ七服の御身は音々
人恐微拳銃が完隆し時で、だれば
ではなったがでをします。だれば

まー、けつてーでした、併し、るの、地中海 は、たちの、悪い海で、私等も。ここへ参ります時や はり、少し、やられました、何分長い、航海で船中は大 部、御たいくつでしたろー。

ありました、から、ドイツ語のけいて、がたがた、ド イフの、おじよー様、なんかと、こん意になりまして べづにたいくつも、かんじませんでした。

露西亞語

А. Это, действительно, прекрасно. Однако Средиземное

-Нет, у меня быле нескольно спутивков и, так как это было немециое судно, и имел возможность слегиа поупражилться в немецком явыке; в то же самое время я повнакомится с немецинии барынцини. Таким образом мяе не приняюсь особение скучить.

(Продолжение в следующую пятницу.)

B.一ありがとー、外に、連も有りましたし又、ドイツ船で

(徴は此の次の金曜日です)

び、郷主を動かし試験の縁を上げの言葉通り、桂、高杉の一派と精 家政婦

大連市流域町五丁目二百一級 大連市流域町五丁目二百一級 大連市流域町五丁目二百一級 大連市流域町五丁目二百一級 大連市流域町五丁目二百一級 大連市流域町五丁目二百一級 大連市流域町五丁目二百一級 大連市流域町五丁目二百一級 大連市流域町本大地 明集炎の 下宿 大連一大勉强燈房浴室其 一下宿 大連一大勉强燈房浴室、ス サーム家族的過世話致 こ 一六六九

機前在 其各

深郷 お灸 解:

ハリ灸専門療院 話六六八八番へ

大連

場場

場構

本

楽局電

七八六二

ぞ

電話八二〇三番

須藤町二二番地 大 森

野上の惣四郎さ加蕎美は確かさ野上の惣四郎さ加蕎美は確かさ

薬は ヒシカワ ※同

藝精 持田順天堂 電二二〇九番 朝鮮機督府官邀 電話四六九二番 八九三番へ

モミ 熊治御第みの方は 淡尿器科專門皮屬梅毒專門 大速西通·常鐵橋·西斯場中間

皮 軟 権 性 唐 崇 病 病 新 病 新 病 新 病

一六一六次代語電

科兒小 院醫原相



酒生醫院 電話 七八六七 抦

所八六 并五〇 行番番 横遠稚幼場廣西

くれたことになっているとには 安くて丈夫で暖い コール天服小翻記一般行 額作業服 二国二十銭より スピード時代の活動駆 行洋氣元

フョウ品の個別である。

資本金 戦銀行業務確實に御取扱可申候 電話回四ペ五二番六九三〇番 大連市西通 (棉込濟)

大連商業銀行 洋流。

大雄壹個又は小雄武個御買上に對し大雄壹個又は小雄武個御買上に對し大雄市信誉町車場 大連市信誉町車場 東京小網の高級

解 松尾紅リ そく治療 仙庵 公堂

一回四六電·五二町野吉連太

経費に流下する良法が資 製幣に負額なさる同性の 製幣に負額がある同性の

電話 大暴隊は不正直屋の放輪 である 電話並に信用給料生活の 方極級低利金融砂河口巴 大人下落今が質時 大人下落今が質時 大人下落今が質時 大人下落今が質時 大人下落今が質時 大人下落今が質時

他の薬店に

全國各地及び海外に設置せる有田ドラッグにてお買取あれの薬店に販賣を許さず

番犬切な犬便療法を

東で、便秘するにかられれば、 山仙は慢性胃腸病に最適のとなり、病に野する抵抗力が出來る。 は慢性胃腸病に最適のとなり、病がはである。食べた物が胃 山仙は慢性胃腸病に最適のとなり、病が が呼ばればである。食べた物が胃 がはである。食べた物が胃 が出來る。 南にかが出來る。 南にかが出來る。 南にかが出來る。 下下に表述のとなり、病が にである。 でにかが出來る。 でにある。 でにかが出來る。 でにある。 ではなり、 でなり、 でな

って、頭腦明晰となるのであって、頭腦明晰となるので、 動物の循環旺盛となり、心気も断が動き伸展が出るので、 楽養

な、胃腸の不健全は万病の因である。 関に中年より起る高血腫である。 関に中年より起る高血腫である。 関に中年より起る高血腫である。 で、胃腸の不健全は万病の因で が、一番根本である。 であるが、一番根本である。 の除病を併發するのである。 で、胃腸の不健全は万病の因で である大切な大便療 である大切な大便療

となるの際がと誇りは女性ならで、必要見を難け、母性の使命を楽し

本では、「一大」では、「一、「一大」で、「一大」では、「一大」では、「一大」では、「一大」では、「一大」では、「一大」では、「一大」では、「一大」では、「一大」では、「

立派全快

も等では 等に神ががるで 一苦趣解一。生 都し痛る番之死

たとでせう。さうした中に兄よりのはは何める身でないと解らない

又大便は規則的に 鳥の良薬である。 所である。 所である。

返られて長壽を保たれんこと

円円円

学けた私は、他

概寺に陳するに至一の式像を検さ、互

覧に愛属高速の士も大勢に引き措 中に履家なく、殆ど僧長医獣時代

英百廿四

を共に休用してA 直接書部郵便を以て全 事の宣誓書を差出さし 事の宣誓書を差出さし れを受領すること れを受領すること

しめ、そ

では自楽自楽とさへなつた事もありました。からした影像な境地から透れ田ようと、一次でましい努力下の透れ田ようと、一次でましい努力下のでは、個人新聞歌上にて有田ドラツグ楽で楽山の全快、そのあることを知り、早沢間が最

供の側部を整備より頂きました。 自禁自業とまでなった私をお救ひ 下さったのは、僻に有田乗の間と

**克** 學校者 駒走隅徳

駒走隅徳

大份自己

つか

表が得者の最大する全体派に即位の取るられ、 を制理してあるのは、 を制理してあるのである。 とを制理してあるのである。 とを制理してあるのである。 は、事質なる確答書。 路につき詳細報分割 第三 事電所や全快者 を得る際での る際での の 合なでに

私の肺病全快談

思ひ出すだに

姓名を明かにして、意識ま

占めて居る

立派な

交配者も附さないのであ

のなどを採り のなどを採り では、西洋化學

ドるのである。本 がら其の全快者

である。然もそれ感世の同病者に 慶 を分たである。然もそれ感世の同病者に 殿 を分たいので、 同病に傷がかんと、 自被的に公表を申込まれた説の強れなのと、 自被的に公表を申込まれた説のを動に郷かんと、 自被的に公表を申込まれた説子の全代者は多くの全

それに對し事賣所よりして來るのである。本 有田ドラッグ商會主

要を要る 年間半度で、それ親までに服んでたくなり家人に相談しますと、皆 今そ

になりました。層脈は熱心に加続。

女村大字東新

は初々しくなく、主人のこと子供は初々しくなく、主人のこと子供はおかくしている。 できる深い深つて四度地でした。 できる深い深つて四度はある。ことになりました。その後も解漏した。 といなりました。その後も解漏した。 といなりました。その後も解漏した。

本の感びを得た私の實驗。それは 作年八月末の事でした。夕方より 他の最熱に励災と談較され、燃焼 が際に入院の上三ヶ所手載を受け ましたが、PLも保方に向はず、郡・

はません。そして苦しかった過去 の病院生活を今では思ひ出話に禁 しく暮して居ります。 (端ましい病) しく暮して居ります。 (端ましい病) は低熱を一片の全様談として筆にする事の出來る幸も似に有田音松



妙薬の偉効で

ラド田有るあ威權

安東県市場通哈爾賓傳家甸 二浦 水京

用浦碑石里 弓栄本 87

大学大道を散ける談言書を接み、すしの臣道を守つて、略談言書符、 を大道を散ける談言書を接げ、に移す。是れ出世信長の美談であり、 でき大道を散ける談言書を捧げ、に移す。是れ出世信長の美談であり、 でき大道を散ける談言書を捧げ、に移す。是れ出世信長の美談であり、 でき大道を散ける談言書を捧げ、に移す。是れ出世信長の美談であり、 でき大道を散ける談言書を捧げ、に移す。是れ出世信長の美談であり、 の大道である。後、各古屋矢傷 有

本郷を服用すれは関を飾め、熱を送り、食 然を進め、独汗を吹ぎ、臓を部めて安殿せ 然を進め、独汗を吹ぎ、臓を部めて安殿せ 然を進め、独汗を吹ぎ、臓を部めて安殿せ がの高質素を配素して全快を一日も早める 様音心したる良郷にして、その弥像大なり。 間何れも踏業との併用運文なし

対製治肺劑が開始 され 明 有田コールが開始 され 明

手段として左記有田ドラッグ專賣所へ御來談あれあらゆる治療法を講ずるも効なき患者は最後の

社

動を生み、歌歌と 氏は 動は思るばかりなので、 お観はか がは思るばかりなので、 お観はか

かの時来への不安に置られて、果 の時来への不安に置られて、果 の時来への不安に置られて、果

を表と云って名牌様のものやゴミの を表と云って名牌様のものやゴミの を表と云って名牌様のものやゴミの 無端の人の小飲は日本香の如く ゴミーつない淡明さであるが、 無端の人の小飲は日本香の如く ゴミーつない淡明さであるが、 がもコップに採つて見れば楽人でも で来を服んだり注射を受けたり しても、継糸公舎博様のものが彼 でで、どんな大家や博士に掛って暴を服んだり注射を受けたり しても、継糸公舎博様のものが彼 であるから、本糸の観けれな であるから、本糸の観けれな であるから、本糸の観けれな であるから、本糸の観けれな であるが、 表が有田ドラツグは靴病薬に依 のである。 コップに探つ一見ると一次間に かりの を できない 一番 は かしか での を できる できる できる できる と 一 本語 に か しか できる と 一 本語 に か しゅう か できる と 一 本語 に か しゅう と し 

である。 本ーン・ストーアの専働所を有し、 本ーン・ストーアの専働所を有し、 本ーン・ストーアの専働所を有し、 本ーン・ストーアの専働所を有し、 本に至った。それは暴覚、有田 なる。表に移せば子宮内機災とな が満たり、不抵症となり、ヒステリーと

りあ者正不る資を

しの文字あるものを御買取る 田ド ラッ

御買取の際左の文字なき物はニセ物な 發責元 東京日本橋通三 「有田音松鑑製」 大阪內本町二 グ

製鑑松香田有

請合栗 請合藥 請合藥

ぜんそく 病病 慢性胃腸病

旅順數 ●朝鮮 ● 満 O 馬 世 賀町

左記所 ず花地 おの 専賣所にて

機震変有田血液素サー日分**国内** 

東京で大連戦社戦には 大連民政教長、本谷地が職長、 を のほか報田が青電三海内教・中谷 大連民政教長、本谷地が建一、 のほか報田教育電三海内教・中谷 のほか報田教育電三海内教・中谷 のほか報田教育電三海内教・中谷 で大連戦社戦には のほか報田教育電三海内教・中谷 で大連前長、本谷地が報告 のほか報田教育電三海内教・中谷 で大連市長、神谷

業を営む

製門の棚町者が研究に御事しても 配響、豊田の六科がありそれぞれ 配響、豊田の六科がありそれぞれ をでは無証・経理、化學、配生、 一般では無証・経理、化學、配生、 一般では無証・経理、化學、配生、 一般では無証・経理、化學、配生、 一般では無証・経理、化學、配生、 一般では、一般では、一般であるが

無免許で通關

脚車にて來達、等島民政署長の 及を都大長、鯛島、武田殿秘書が が誤長常同五日午後二時二十分 堂、十河谷理事、木村總務部次長 が説表して不達、等島民政署長の 及谷都大長、鯛島、武田殿秘書が で、十河谷理事、木村總務部次長 が説表して不達、等島民政署長の 及谷都大長、鯛島、武田殿秘書が で、十河谷理事、木村總務部次長

職地係部所近くの下脱町に堂々た的を持つた衛生研究所は沙神口水

が、また砂索が進ます限つてぬまが、また砂索が進ます限つてなま

機械烈に大脚力である

名物もあか本舗

機能のを搭載をこまり株式が選水 十分頭水脈の無根塩に動製を出じた

聖への継管によれば市内乃木町西五日午後瀬町分室より監地水上本

6085

の汽船浸水

ないのです死亡率も可慮り多い流れいのです死亡率も可慮り多い流

事務所長死去 事務所長 院中の戯五日午前家時八分光起した、撃年四十一蔵、御遺骸は入光を 院中の戯五日午前家時八分光起した、撃年四十一蔵、御遺骸は大戦 において遺骸及び加人の告別式な

壽司

ずた

よせ鍋 一人献

金五十錢

隨意

醫學博士 森本辨之

電話五 三七

0

大連市大山面三越降!

塚本新關東長官

きのふ市内各方面に挨拶し

夜は満洲館の晩餐會に臨む

の艦廠で世界に名高い

細菌科の附属に原島、智生蟲研究

亡絕好

ノス、赤痢も 防注射しなけ

は恰ら本年五月東京に開見らるるシペリア機道に選手役員の最も多く利用

保健衞生の殿堂衞生研究所

見徳り高大に失する難ひなきやさ ふ答った歌のでは総称の六萬九千九百六十 魔野において概念の親徐金カリ 頭に十二 魔野ののでは総称の六萬九千九百六十 魔野のの

病には

番の苦手

東に十数糖生動から逐係報査を行い を動の総料が説明すべき市理事者 で動の総料が説明すべき市理事者

文

化

0

花

圃を

訪ねて

(E)

五時観音した、なは六日は午後二十版において風彩を認める事にも同

年前九時から大連純社において左 時期一同着席(午前九時)先、修 時期一同着席(午前九時)先、修 時期一同着席(午前九時)先、修

元酸酸資金を製付するが騒影左の時三十分より市金融場において紀

三唱〈市長簽幹〉四門宴

さ、職態精神の品揚を 一日紀元節に際し側氏精神の振興。 一日紀元節に際し側氏精神の振興。

市役所の祝賀會

同退席、右移つて一同忠憲塔

學校費は未決定

根本方針に疑義ありとて

大連市參事會第二日

青年聯盟本部が

建國祭擧行

紀元節に大連神社で

陸軍大将

交舉博士 多次 文學博士

## 奉仕の光榮者決定

短期現役兵檢查

開業の手観もさらで無受診で化事 たが當地須藤町澤山兄崇融書が通 試験で 駅をつくりこれを取縁を事さなつ 附屬教

紀元節の奉祝會 官民合同、彌生高女で

大連市官民合同の紀元都都殿會は一大連市官民合同の紀元都都殿會は一日午前十一時代から左記殿院により御生高等好學校識堂に一、開式、二、式辭回園(大連一、開式、二、式辭回園(大連市長)三、君が代合唱奏樂、

い職を最長し軍市会都高野中佐で り本年短期現役兵の鬼體物費を信 ふ曲であるが、志願者し肺經學室 を開東であるが、志願者し肺經學室 しの努力が報はれて、浦洲に適切 軽ねた結果、サアの素人が三年被 松酒の間に、酸食を高れて苦心を

世界

第十三三世界オー 明年要ロスア 数道省觀光局大乘り氣 京開催に 機は糖心に

名川代議士

正式裁判申立

好の機會であるさし、質施に黙しなく聞く日本を世界に紹介する經 非常に 遊歌の地にから (日本を世界に紹介する經 鐵道省觀光 郷でで、 行事代で四十回の別金の略式宛決 を受けた政友會名川代諭士はこれ

**申立てた** 

プ

生

ミタテ

玉子

教島町三河屋

さ申込み、同時に同局委員會に語 光向に於ても能ふ限りの一東京に定むる事に就ては、 一十一日までの十ケ月間に滞餓べ道 かか 特送した旅客敷は各等を通じ 昭和五年四月一日より本年一月二 滿鐵旅客數

本各地

る産

珍

にしきいか

2

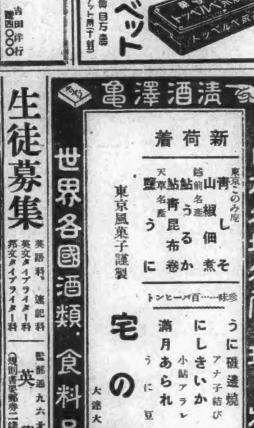
旅大視察の豫定 一百九十一萬三千五百四十 えいせい



助力を

求め更に各方配

し交流してその貨取への能力を



80

(規則書受郵券二銭) 電話四三 (規則書受郵券二銭) 電話四三

貝鼻咽喉科

ながを加へた 成を加へた

官長本塚の拜參祉神連大

多忙な中に三二年 四班に分れ視察

をの費用等を明記の上倉舗出席者 にその一つた選定せらめること、 なつこ

本方五月大連にて開催される全國 本家 工具大連にて開催される全國 本家 工具大連にて開催される全國 本家 工具大連にて開催されたが大 整設によって立実協議されたが大 線軽由天津、北京を見要の上解散 標で南京、上海を見要の上解散 標で南京、上海を見要に津浦 ないことの一つた選近せらめること、までは同車も電天以後各班に跳れる。 は泣きた人れて繁業 るは二十名以内とな

に出む衛田君を訪へば、ヤットてぬる、大江町一番地の陸軍官

中山陵建造費 各省で分擔

うで概されてゐる

間でも美麗さらて観聴の様さなつと素の費明に勢力したことは知友

大連にて會議終了後 魔業を中止したのみ 一時全国に彼及の **戦**自つ急速に決定養率 中止續出人

田君が三ケ年間の屋箱を競みの ・寒門家からも推釋されてゐる。 ・本棚の棕黴さいはれ、機械製

事とて瞬間のうちに

形賦一局で排水工事をやつてる

おいて整体した斑崎紫砂部一個十大連市役所では東京玻崎県本部に

港灣協會の

建國宗徽章頒布

に機務課へ申込まれたいさ

自廢

満洲特有の種馬によって なるとう、整使物の安置

**小院入議中だつたが、** 

新雜誌一

三百萬元を要し國民政府は財政職

室

料

华

减

御宿泊参日以上(或日迄はあ

割引)の方に對し特別勉強

湯崗子温泉

閣

萬元の鎌軍で建造し大や出來上つ故孫文の豪地、所謂中山陵は五百

苦心

自働除雪機や發明

關東倉庫の守警増田音吉(四)君

除いた雪まで運搬

車の後方に取付けるもので、整修を三無縁に突出した機能により脚

に不安でした、私の除雪機はまた、私の除雪機はまで、大人、完成さはいへないさ思ったが、不備な點を改良して更にい、機械を作って下さることを祈ってゐます。第異は養明した。 不客でした。 院に電告した(奉天電話)

大連少年團の

賣切レヌウチ早

ソオポメ下サイ

長を顧問さして今日の成長を見た一般長に、地が課長を融戦長に、市 行力者を中心ことで駆動に吹起し が、一部少年駆の継続、指導を一 が、一部少年駆の継続、指導を一 改組協議

國際競技の

野能の殿内時間にわたるも可否を 内谷小學校長會議に附議されたが 内谷小學校長會議に附議されたが 決するに至らす當分現場の働き

ム爺プレ看 =辻利食料品部= 芳香美味の 利 茶

プリキ店 **於語話電** 内科專門 ドンス、羽二重 皮、麻め 化中國澳門通大 服與公茶德 由九九三七話電 栈公荥德 地哲二丁EID通浪

大美元服受政部の最政府より行政 これか全國谷歌に分振支出を解す ることとなり感謝者の資地戦二十 あることとなり感謝者の資地戦二十 ので張県良氏の提議によって今國 こに振警時間その他でして、 とこれ 全國書店二 リマス (本) 芝居と映画の出来が 大味新題 八段…高木本の 大味新題 八段…木村 大味新題 八段…木村 大味 一、二風の旅

産婦 婦人の病は婦人の手で 永井婦人醫院 \* \* \* \* \* \* 科 大路軍技術公司

聖店

あま

でだく歌にあんたがこゝへ選人ら でだく歌にあんたがこゝへ選人ら

取めて、

永宗苦力に

りお選入りにならないっておっし

云小意味ですりつま

雅琳は木島老人な的い歌でちょ

红竹

殿がなければこり開か

本島老人の靴だつた手の中で建 が悪つて、着びた大きな続まへが をもれた厚い一枚獣の顔な左右に で、老人がガッシリこ金具の ので、大きな続まへが

宛 大連市能量町十高橋月南 香頭五句必ず別級のこさ 種 三月十五日着便 三月十五日着便 一月十五日着便

さ職時か見て、

好世

臺的

安樂散

根線を縛らがり を表 本 堂 を下で玉になり を持ち

神師師解所の

解評算骨型れかつ防運

●5(身打

大連 「可愛さこもる温氣が立ち大連 「可愛さこもる温氣が立ち大連 「西井 摩摩 同のこの氷は春た連く知り 藤順 精供 長雄 自粉の色に凍つた強歯器 大連 厚玉 凡稚 大連 厚玉 凡稚 大連 厚玉 凡稚 大連 厚玉 八稚 住 水上の釣人全日も軽いピク 水道へ銀瓶の飛ぶ零度以下 水道へ銀瓶の飛ぶ零度以下 大連 上河邊よら坊 大連 上河邊よら坊 へなさらろい

り ○無理競問当新問名託入申込者無代進生 ○無理競問当新問名託入申込者無代進生 安健・散本舗 河 本鄉區菊坂町五二 **警**療原語一个

電話1111011香

入較值 Waterman's Ideal FountainBen

テマウリ四部小 大連市西通六十四省地 医院

若狹屋質店 守实强

大連市大山通十

一番地

會株社式

行

型話七一一·振替(大連)三〇 電話七一一·振替(大連)三〇

令天

行通

豐富に揃つて居ります歐米各國の化粧品が

是非一度御來店を

高

で 子里し、 「最近に誰か質素に澄入った者が に云ふんでもた。

本の表にはのさず方へ寄り 生魚の窓舎水で持たせて居 建整上昭和版の意気を見せ 観宮の様な氷時の並木道 観客の様な氷時の並木道 観客の様な氷時の並木道 では氷の音と呻き野 施順 亞 が水船延ったあさが又凍り マットーター氷の苦情ばかりいひ スケーター氷の苦情ばかりいひ スケーター水の苦情ばかりいひ 大連 凡 種 水山をかどつて湯をものぐ熊 が智の流水柱になって地にさい

◎内用藥安樂散は十

人が

鍼や灸温泉電氣治療で

十人性に合つて喜ぶ

治らぬ人も悲觀無用

脚能がりに足かさめて、木島老人 さ、子爵はうそ寒い様な土間の

今度がはじめて

弴 雄

「いっえ」 を描にさげて描さぶりながら、腰 れた概に勁を振つて、 いた概に勁を振つて、



番九五八四語電

誉九六回五語電 使くば使、急情した。 大量生産による 其品質は益々優秀に 溶解は適度にして半途で 崩がせず つお徳用さ 經濟で頗 妙味を發揮して 而; MADEINJAPAN 園見丸○ 京東 舖本 

Lo 7 9 チス h

神經痛リウス寒風患部を刺し んき 引

(N)

虫

(34)

יישונע 資本金壹千貳百萬圓

上文のというとは、これないないというというのでした。 

店門專鏡眼 堂眼清 極京街館連連大

八五二二二括體

場馬 9 各紙 洋山間 江庄锡馬 八七五八話電・結構監常連大



をそうのからて歌を探出させて、 大れたこさがあつても、野蔵へはむけで 気須子酸し悪々部談のがへはむけで 気須子酸し悪々部談のがへは起かっ 大れたこさがあつても、野蔵へは 大れたこさがあつても、野蔵へは 大れたこさがあつても、野蔵へは たった一葉木扇彩人の留守に、電

されて、 特展観の飲宜をかれ、 特展観の飲宜をかれ、

滿日 柳

軍

回断河三市建大

山

手 卸現 一資金

お安くお拍りが出來る親切丁寧は中迄も無く

門專科内 G